

令和7年度 京都市立西京高等学校・附属中学校 中高一貫教育研究大会について (第2次案内)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび本校では、日頃の教育活動やこれまでのICT教育などの教育実践を振り返り、次の10年を見据え、「授業改善の『改善』をめざして-西京の挑戦2025-」をテーマとした、中高一貫教育研究大会を下記の通り実施いたします。全国的に教育改革が進む中で、公立中高一貫教育校のあるべき姿を全国の皆様とともに考える機会としたいと考えております。つきましては、ご多用中とは存じますが、多数ご参加いただき、ご指導・ご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1. 大会テーマ 授業改善の「改善」をめざして — 西京の挑戦2025 —
2. 主 催 京都市立西京高等学校・附属中学校
3. 期日及び内容 令和7年11月14日(金)・15日(土)
1日目: ◆全体会・研究授業
◆分科会[英語、数学、国語、社会・地歴公民、理科、情報、
総合的な学習・探究の時間]
2日目: ◆特別講演 学校をもっともっと「自由な場」に
講師 広島県 総務局付課長 福山市教育委員会 学校教育部参与
「学校改革を『改革』する」(2023年・学事出版)著者
寺田 拓真 氏
◆生徒による成果発表会
- ※詳細なタイムテーブルは次頁に記載いたします。
4. 参 加 費 お一人当たり3,000円 ※京都市立学校・園につきましては、参加費は不要です。
なお、参加費は当日受付でお支払いください。
5. 実 施 形 態 対面のみでの実施となります。オンライン配信は実施いたしません。
6. 問 合 せ 先 京都市立西京高等学校・附属中学校(担当:高等学校教育推進部)
TEL:075-841-0010 FAX:075-822-5702
HP:<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/saikyo/>
E-mail:enterprising@edu.city.kyoto.jp
7. 申 し 込 み Formsによる申し込みとなります。詳細は別項目にて記載いたします。
8. そ の 他 本校は2足制となります。下足入れやスリッパをご持参にご協力ください。

□詳細 ※1次案内より、一部変更しております

11月14日(金) 9:30~16:30 (受付 9:00)

	9:00	9:30	10:50	11:50	12:40	14:00		16:15	16:30
	受付	全体会	研究授業 I 公開授業	研究授業 II 公開授業	昼食 休憩	分科会	まとめ		

9:00~ 9:30 受付(本館7階) ※正面エレベーターでおあがりください。

9:30~10:20 全体会(中高合同)
・本校の教育概要について ・大会概要について

10:50~11:40 研究授業 I・公開授業

11:50~12:40 研究授業 II・公開授業

昼食

14:00~16:00 分科会(中高合同)

16:15~16:30 まとめ

※18:00 より別会場にて、実践交流会(懇親会)を予定しています。

◆ 研究授業 I (10:50~11:40)

【中学】

	教科	授業タイトル	授業者	対象学年
a	国語	『徒然草』で生き方のヒントを学ぼう	柴田貴子	中学2年
b	社会	北海道地方～自然環境に着目して～	久保田守	中学2年
c	数学	空間図形の利用(デジタルの活用)	松本和也	中学1年
d		空間図形の利用(アナログの活用)	細田文子	
e	理科	「運動とエネルギー」の「なぜ?」を調べる	合田智栄	中学3年

【高校】

	教科	科目	授業タイトル	授業者	対象学年
f	国語	言語文化	京都の高校生が読む『枕草子』	清水祥子	高校1年
g	公民	公共	今後につながる資産形成	菅谷尚平	高校2年
h	数学	数学I	図形と方程式	結城明香	高校1年
i	理科	化学研究I	pHメーターを用いた緩衝液・加水分解の導入	山崎宗彦	高校2年
j	英語	IEC ^{※1} II	画像生成機能を活用したリテリング・アクティビティ	芳賀康大	高校2年
k	英語	EEC ^{※2} II	正確で多様な英語表現力の育成	山口円	高校2年
l	情報	情報学基礎 ^{※3}	身近なプログラムに着目したプログラミング学習の導入	加口健至 (森裕崇) (荒木修)	高校1年

※1「IEC I・II」は外国語科「コミュニケーション英語 I・II」の代替科目です。正式名称は「Integrated English Competency」。

※2「EEC I・II」は外国語科の専門科目です。正式名称は「Expressive English Competency」。

※3「情報学基礎」は情報科「情報 I」の代替科目です。研究授業 I・II の2コマ連続授業です。

◇ 公開授業 ※研究授業の時間帯に以下の授業も公開しております。

【中学】

教科	授業タイトル	授業者	対象学年
社会	歴史的分野 古代	竹市佳代	中学1年
数学	平方根	松永緋花里	中学2年
		松井ゆかり	
英語	Unit 7 An Online Tour of the U.K. ～Microsoft365のアプリケーションを 活用したリアルタイムなやりとり～	金子香緒里	中学1年
		山中麻由実	
EP-A ^{※4}	Mission7(イノベーションタイム) 最終企画提案 ～『教育と探求社 クエストエデュケーション (企業探究コース)』全国大会に向けて～	浅野有美子	中学3年

※4「EP-A」は「総合的な学習の時間」の校内呼称です。

【高校】

教科	科目	授業タイトル	授業者	対象学年
国語	応用言語研究Ⅰ	問い合わせ授業 小説読解	橋本麻衣	高校2年
地歴	地理総合	地球的課題と国際協力	藤田駿	高校2年
数学	数学Ⅰ	複素数と方程式	富永哲司	高校1年
数学	数学Ⅰ	複素数と方程式	奥虎徹	高校1年
		図形と方程式	中谷隆	
理科	物理基礎	波の性質	小谷大貴	高校1年
理科	化学研究Ⅰ	電離平衡	西野至	高校2年
			田村竜一	
英語	IECⅡ	ELEMENTⅡ Lesson6 A Long Way Home	折笠阿香音	高校2年
英語	EECⅡ	正確で多様な英語の表現力の育成	佐藤由樹	高校2年

◆ 研究授業Ⅱ (11:50~12:40)

【中学】

	教科	授業タイトル	授業者	対象学年
m	英語	チャットボットを用いた英作文力の向上	有田有志 (郷田亞希)	中学2年
n	数学	附属中3年後期の中学校数学 ～LEAFシステムを活用した授業の提案～	新井健吾	中学3年

【高校】

	教科	科目	授業タイトル	授業者	対象学年
o	国語	応用言語研究Ⅰ	「教材」としての”小説”と ”自己”の決別	藤田亮介	高校2年
p	地歴	世界史探究	「歴史家のように読む」史料学習	松永登喜雄	高校2年

q	数学	数学探究 I	ICT を活用した記述解答の共有	磯部慎之介	高校 2 年
r	理科	生物基礎	血液型と免疫応答	古谷昇	高校 1 年
s	理科	物理研究 I	観察から学ぶ ホイヘンスの原理と波の回折	倉橋佑弥	高校 2 年
t	英語	IEC I	ICT を活用した 教科書教材の導入と読解	川部佳菜子	高校 1 年
u	情報	情報学基礎	身近なプログラムに着目した プログラミング学習の導入	加口健至 (森裕崇) (荒木修)	高校 1 年

◇公開授業 ※研究授業の時間帯に以下の授業も公開しております。

【中学】

教科	授業タイトル	授業者	対象学年
国語	『「不便」の価値を見つめ直す』を見つめ直す	矢倉裕也	中学 1 年
数学	平方根	松永絆花里	中学 2 年
		松井ゆかり	
数学	附属中3年後期の高校数学	三浦幸一郎	中学 3 年
理科	身のまわりの物質	小島一弘	中学 1 年
理科	地球の大気と天気の変化	藤谷綾香	中学 2 年
英語	Unit 7 An Online Tour of the U.K ～Microsoft365のアプリケーションを 活用したリアルタイムなやりとり～	金子香緒里	中学 1 年
		中山麻由実	
EP-A	Mission7(イノベーションタイム) 最終企画提案 ～『教育と探求社 クエストエデュケーション (企業探究コース)』全国大会に向けて～	細田文子	中学 3 年

【高校】

教科	科目	授業タイトル	授業者	対象学年
地歴	歴史総合	経済危機と第二次世界大戦	吉谷智美	高校 1 年
地歴	日本史探究	桃山文化	村山翔平	高校 2 年
数学	数学探究 I	極限	中谷隆	高校 2 年
			市川正美	
理科	化学基礎	酸と塩基の反応	佐橋遼平	高校 1 年
理科	物理研究 I	波の回折とホイヘンスの原理	酒谷麻衣子	高校 2 年
			吉田伊津美	
保体	保健	食事と健康	羽田玲奈	高校 1 年
保体	保健	健康に関する アクティブラーニング実践	萬玲奈	高校 2 年

◆ 昼食（12:40～14:00）

昼食は、申込フォームより仕出し弁当（お茶付 1,500 円）をお申し込みいただくことができます。

または、近隣の商店・飲食店をご利用いただくか、各自でご持参ください。

昼食場所として、本校地下1階の食堂を開放いたします。 ※ 食堂の営業はございません。

◆ 分科会（14:00～16:00）

教科	教科テーマ	分科会の概要
国語	教材 $\left\{ \begin{matrix} \text{を} \\ \text{で} \end{matrix} \right\} \times \left\{ \begin{matrix} \text{教える} \\ \text{学ぶ} \end{matrix} \right\}$ 授業	前半は、授業のねらい等を説明した上で、研究授業それぞれについて、意見交流を行う。後半は、参加者の実践例もふまえながら、テーマについてともに考える時間とする。
社会 地歴 公民	つながりを生み出す ICT 活用 ～対話的で深い学びをめざして～	分科会前半では、午前に実施した3つの研究授業について、順に研究協議を行う。その後、分科会後半では、中高6年間を見通した社会科・地歴公民科での教科指導の方針や現状について、本校での事例を交えながら、ご参加いただいた先生方とともに交流・検討する時間を設ける。
数学	学習到達状況×自己調整の 支援型授業改善 ～デジタルとアナログの 良いところ取りをめざして～	研究授業を振り返るとともに、今回の授業になかったデジタル・アナログの良いところについて意見交流をはかりたい。はじめに授業者より、ねらい・反省等について報告し、それを受けて参加者全体で課題の共有をはかる。その後、中学・高校と分かれて課題についてグループディスカッションを行う。
理科	「なぜ」から始まる授業づくり ～自律的学習者の育成～	研究授業では、生徒や教員の「なぜ？」という問い合わせを出発点とすることと、その授業が今後、身近な現象や課題に対して自ら疑問をもち、科学的な視点で解決する力をもった自律的学習者の育成につながることの2点をめざした。その目標の実現に対して ICT の利用が効果的であったかどうかということや、どのように寄与しているかに注目し、具体的な実践をもとに検討・協議を行う。参加者の方々からも具体的な実践案と改善案をいただき、さらなる授業改善に向けて意見交流を行う。
英語	「『紙から ICT へ』の授業改善」 の再定義 ～目的・意図を明確にした ICT ツールの活用～	「授業を通して育みたい力」を明確にした上で、「どういう意図で ICT ツールを活用するのか」を考えながら、今回の研究授業の設計を行ってきた。「育みたい力」に対して、それを育むための授業展開は複数考えられ、研究授業では行わなかった手法もある。分科会ではそれらも取り上げながら、「育みたい力」を育てるために、ICT の利用が効果的であったかどうか、具体的な実践をもとに検討・協議を行う。参加者の方々からも具体的なご意見をいただき、さらなる授業改善のための意見交流の場とする。
情報	生徒が「一生役に立つ情報リテラシーを 身につける」ための 指導と評価の一体化	研究授業の研究協議を行い、指導助言をいただく。その後、プログラミングの単元を中心に、「生徒にどのような力をつけていか、その力をつけるために授業でどのような仕掛けをしているか（授業デザインと単元デザイン）、その力をどのように見取って評価につなげるか」を参加者と交流・議論する。
総学 総探	CReDi で貫く“西京生”的涵養	本校では、未来を見据えた新たな教育指針として、身につけさせたい資質能力をまとめ、中高の共通概念としてきた。研究協議では「CReDi」と呼ぶその教育指針と総合的な学習・探究の時間の授業設計の関わりについて報告し、評価のあり方の検討も含めて、意見交流を行う。

◆ 実践交流会（18:00～20:00）

本研究大会や皆様の普段の教育活動について、本校教員と参加者の皆様の意見を交流する場として、会食を兼ねた交流会の場を設定しております。是非ご参加ください。

会場：京都ハートンホテル

京都市中京区東洞院通御池上ル船屋町 405 地下鉄「烏丸御池」駅 1番出口より徒歩2分

会費：7,500円

申込：研究大会申し込みフォームより、合わせてご登録いただけます。

11月15日(土) 9:30～12:45（受付 9:00）

	9:00	9:30	11:15	12:20	12:45	
	受付	特別講演		生徒成果発表会	意見 交流会	

9:00～9:30 受付（本館7階） ※正面エレベーターでおあがりください。

9:30～11:00 特別講演

講演タイトル：学校をもっともっと「自由な場」に

講師：広島県 総務局付課長 福山市教育委員会 学校教育部参与
「学校改革を『改革』する」（2023年・学事出版）著者

寺田 拓真 氏

11:15～12:10 生徒成果発表会

12:20～12:45 意見交流会

◆生徒成果発表会（11:15～12:20）

本校生徒の様々な取組の成果を、それぞれ代表生徒がポスター形式で発表します。

	取組	概要	学年
A	EP-A Mission7(イノベーションタイム) 企画提案	企業から受け取ったミッション(例：「生きる歓び」が溢れる未来の景色を提案せよ！)に対し、これまでチームで議論し企画したものを提案します。 この提案で、クエストカップ全国大会に挑みます。	中3
B	海外/国内フィールドワーク 実施報告	昨年度3月に実施されたフィールドワークでの学びや調査活動の成果等について報告します。中高5学年が参加する「FW発表会」(5月実施)で発表した内容です。	高2
C	海外/国内フィールドワーク 事前学習・生徒運営会議	海外/国内フィールドワークに向けた事前学習や準備の概要や、それらの企画運営に中心となって取り組む「生徒運営会議」の活動について報告します。	高1
D	エンタープライズI・II (総合的な探究の時間)	「エンタープライズ(総合的な探究の時間)」での取組や、それを通した学びについて発表します。	高1 高2
E	エンタープライズII 課題研究 (総合的な探究の時間)	6月から「エンタープライズII(総合的な探究の時間)」で取り組んでいるグループでの課題研究について、中間報告を行います。	高2
F	短期留学	本校や京都市等の留学支援制度を利用して短期留学に挑戦した生徒が、留学体験について報告します。	高1 高2

参加申し込み等について【申込期限:10月17日(金)】

研究大会申込フォームよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/rjPSbbZyFL?origin=lprLink>

右のQRコードからでもアクセス可能です。

ご登録いただく内容は、以下の通りです。

- ・お名前、役職
- ・学校(ご所属)、連絡先
- ・ご担当の教科、科目
- ・1日目に参加いただく研究授業、分科会
- ・2日目の講演・発表会の参加の有無
- ・1日目の仕出し弁当、実践交流会(懇親会)の参加の有無



※お一人ずつのご登録をお願いいたします。

※このフォームにご入力いただいた全ての個人情報につきましては、厳重に管理の上、本研究大会の目的にのみ使用させていただきます。

※本校から登録の完了をお知らせすることはございません。

※仕出し弁当や実践交流会費用の支払いに関しては、東武トップツアーズ株式会社より別途お届けする案内をご確認ください。

※宿泊先のご相談につきましても、東武トップツアーズ株式会社に対応いただいております。
下記までご連絡ください。

東武トップツアーズ株式会社 京都支店 担当:田尻

MAIL:seiji_tajiri@tobutoptours.co.jp TEL:050-9001-8771

※参加登録は、申し込み期限を過ぎましても可能です。ご相談ください。

※本大会参加費に係る領収書は、下記の形式で発行いたします。

宛名:参加者個人名

領収者:京都市立西京高等学校 学校長（角印）

その他の形式をご希望の場合は、事前に以下のアドレスまでご連絡ください。

京都市立西京高等学校・附属中学校 研究大会担当 田中英歳

ba420-tanaka@edu.city.kyoto.jp

◆会場へのアクセス



市バス	「西大路御池」下車すぐ
地下鉄	東西線「西大路御池」下車すぐ
J R	嵯峨野線「円町」下車 徒歩10分
嵐電	嵐山本線「西大路三条」下車 徒歩5分
阪急	京都線「西院」下車 徒歩10分